

様式7

「学校」部門

河川基金助成事業

「『小糸魚川』の水辺における 子ども達の川について学ぶ体験活動」 報告書

北海道苦助成番号：2020 - 7211 - 009

北海道苫小牧市立澄川小学校

学校長 上村 明人

2020 年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2020-7211-009	「小糸魚川」の水辺における子ども達の川について学ぶ体験活動		北海道苫小牧市立澄川小学校			
校長名	上村 明人	担当教諭名	高取 有子			
過去の助成実績	あり [助成番号: 2019-7211-005 助成事業名: 「小糸魚川」の水辺における子ども達の川について学ぶ体験活動]					
キーワード	川遊び, 水棲生物採取, 新聞作り					
対象児童生徒	高校生 (年 名) 中学生 (年 名) 小学生 (3年79名)					
年間学習計画 (シラバス) における本助成事業の位置づけ						
テーマ	小糸魚川探検隊 (環境・防災)					
ねらい	環境を大切にすることや自然とともに生きていくことの大切さに気付く。 川の生態系を肌で感じて知識を得ることにより、食物連鎖のしくみを知り、他教科へ活かす。 川での安全確保について知り、災害の時など自らの判断で行動に移すことができる能力を身に付ける。					
評価の観点	小糸魚川の環境をテーマに自らの課題を設定し、収集した情報を整理できたか。 調査・体験活動での学びを通して、小糸魚川の特徴を捉え、興味関心を深めることができたか。 川での安全確保について理解し、ルールを守って行動できたか。					
活動時期	7月～11月					
活動形態	総合的な学習の時間	各教科学習 ()	各教科学習 ()	学校行事	その他 ()	合計
上記の活動時間数	30時間	時間	時間	時間	時間	時間
支援者等 (複数記入可)						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援概要	全員分のライフジャケットの借用、及び運搬、返却。 川の学習におけるリスクについての事前学習会の講師。 当日、現場の事前調査。ボランティアによるサポート人員の確保。					
活動成果	発表形態			成果作品		
	学級単位	学年単位	学校全体	「個人新聞」		
	対外発表 ()					
安全対策に関する課題						
<ul style="list-style-type: none"> ・台風等による河川の増水や気温の低下に対する配慮が必要のため、気温の低下や増水を考慮し、8月最終週～9月第1週を実施日に設定するのが望ましい。河川の増水量を考慮し、実施予定日から一週間後を予備日とするのが望ましい。 ・当日の気温が低い場合の寒さ対策。 ・事故防止のための人員確保。緊急時の対応体制。 						
活動の成果と今後の課題・展開						
<p>【成果】①身近な自然に触れ、生命の大切さを直に知る良い機会となった。(当日の川遊び、魚・生き物捕り) ②採集した生き物の観察により生態系への興味関心を深め、設定した課題を進んで解決することができた。 ③それぞれまとめ方を工夫し、自分の思いや願いを含めた成果物 (今年度は個人新聞) を作り上げることができた。</p> <p>【課題】・水温や水質の管理に専門的な知識や環境が必要であるため、採集した生き物の生命維持が難しい。</p> <p>【展開】・道徳科「こころの授業」では、ウトナイ湖野生鳥獣保護センターの獣医師を招き、環境・自然に対する畏敬の念を育てる機会を設ける。また、総合的な学習では、5年生の宿泊学習にて、沢登り体験 (環境・防災) を行い、日高町沙流川と小糸魚川との比較を行う。そして6年生での『ハザードマップ作り』(防災教育) へ繋がられるよう、日頃から「小糸魚川」について関心をもてるような取組を行う。</p>						
活動内容と実施時期 (主な活動を2つのみ記入)						
	部門	大分類	中分類	小分類	実施時期	
データベースに登録する活動分野	学校部門	教育活動	体験活動系	川遊び	9月	
			生物調査系	魚類	9月	

※データベースに登録する活動分野は、本冊子P. 46の活動分野一覧表から代表的なものを2つ記入して下さい。

スタートアップ活動報告書

1.助成事業	「小糸魚川」の水辺における子ども達の川について学ぶ体験活動		
学校名	苫小牧市立澄川小学校	助成番号	2020-7211-009
2.実施した教科・領域	総合的な学習の時間		
3.実施日時	令和2年7月～令和2年11月		
4.単元目標	環境を大切にすることや自然とともに生きていくことの大切さに気付く。 川の生態系を肌で感じて知識を得ることにより、食物連鎖のしくみを知り、他教科へ活かす。 川での安全確保について知り、災害の時など自らの判断で行動に移すことができる能力を身に付ける。		
5.学年 人数	第3学年 79人		
6.実施場所	小糸魚川 川沿親水公園周辺		
活動指導報告実施内容 第3学年 総合的な学習「小糸魚川探検隊Ⅰ～小糸魚川プロジェクト～」 全30時			
第1次	学習活動 「課題の設定」～7時間		
	<p>① 前年度の活動の様子から、川の学習へ興味をもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 校歌に出てくる「小糸魚川」に触れると共に、市内の川について考える。 川の始めや終りは、どこなのか考える。 校外学習で小糸魚川へ行き、いくつかのポイントから川の様子を観察し、個人課題を設定する。 <p>② 外部講師の指導による事前学習を行い、小糸魚川での体験学習の見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 体験学習に必要な持ち物や注意事項、また、河川での行動の仕方について知る。 前年度までの体験学習における川の様子を聞き、児童の意欲付けに繋げる。 2年生の時に見学学習で訪れた水族館で見た生き物について思い出し、捕獲した生き物をどのように飼育するか話し合う。 		
第2次	学習活動 「情報の収集」「整理分析」～17時間		
	<p>①外部講師の指導による小糸魚川での体験学習を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ライフジャケットの着用による安全確保をし、川とふれ合いながら川下りを体験する。 魚網を使って川に生息する生き物を捕まえたり、生き物が隠れていた水中の様子を観察したりする。 捕獲した生き物を持ち帰り、飼育し観察を続ける。 <p>② 第1次学習活動を振り返りながら、中心的に調べる生物を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1次学習活動を振り返り、新たな気づきや活動を通して疑問に思ったこと等児童一人一人が川の学習に関して課題を設定する。 <p>③ 一人一人が学習課題をもち、調べ学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人が川の生き物や環境等に関する学習課題をもち、学校図書館や市立図書館の図書や図鑑、インターネットを活用して調べ学習を行う（ポートフォリオとしてのまとめ）。 ワークシートを活用して学習したことをまとめたり、他の児童と調べたことを交流したりして学習を深める。 ワークシートをもとに、児童一人一人「川の学習新聞」を作成する。 		
第3次	学習活動 「まとめ・表現」～6時間		

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7211-009	「小糸魚川」の水辺における子ども達の川について学ぶ体験活動	苫小牧市立澄川小学校 上村 明人



フィールド：校内（教室）

日付：令和2年8月21日（金）

コメント：「小糸魚川探検隊」をテーマに、これから学習していく内容についてパワーポイントの資料を見ながら、学習の流れを学びました。提示された資料から、校歌に小糸魚川があることをあたらめて知り、澄川小と小糸魚川の深い繋がりを確認しました。また、昨年度の3年生が取り組んだ川の学習での様子やまとめの新聞などの例から、学習の見通しをもっていました。



フィールド：校内（教室）

日付：令和2年8月25日（火）

コメント：川の場所を知るために、実際に小糸魚川へ行き、学校との距離の近さに驚いていたようです。また、橋の上と川の近くの2か所から、川の流れる様子など2方向からの違いを観察しました。また、川に関連した看板や河川工事の際に建てられた石碑を見つけたことで、川の周囲の様子について興味感心を深めました。



フィールド：校内（体育室）

日付：令和2年8月29日（木）

コメント：NPO法人いぶり自然学校の職員を招き、事前学習会を行いました。「川で活動するときの服装・持ち物」「川で安全に活動するための注意事項」について講話を聞きました。特に命を守るために必要となるバディの存在については相手をしっかりと確認し、バディを見つける練習を繰り返し行いました。また、川に潜む危険について説明を受け、命の守り方を学びました。川に入ることがない児童が多数いましたが、事前学習を通じて、どの子ども当日への期待を膨らませることができました。

注) 写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7211-009	「小糸魚川」の水辺における子ども達の川について学ぶ体験活動	苫小牧市立澄川小学校 上村 明人



フィールド：小糸魚川

日付：令和2年9月3日（木）

コメント：やや肌寒い日でしたが、学校から10分ほど歩き、川沿公園(親水公園)へ向かいました。現地到着後、事前学習で確認したパディとライフジャケットが正しく着用できているか確かめました。その後、講師から川での危険箇所を教えてください、川の水に慣れるよう少しずつ入水しました。購入させていただいたタモや観察のための道具を活用し、川に生息する魚やヤゴ等の水棲生物を探しました。



フィールド：小糸魚川

日付：令和2年9月3日（木）

コメント：9月初旬とはいえ、曇り空だったためか水温はあまり高くありませんでした。今回、初めて川へ入る子が多数いましたが、講師の指導に従い、安全に気をつけながら川での学習を進めることができました。また、助成金にてタモを購入できたため、自分のタモを持っていない児童全員へ貸し出せたため、たくさんの水棲生物を見つけることができました。また、水棲生物が多く生息していそうな場所を友達と交流するなど、進んで学びを深めていく様子が見られました。

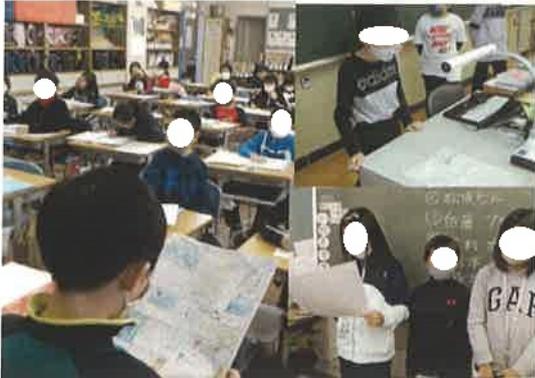


フィールド：小糸魚川

日付：令和2年9月3日（木）

コメント：旧年度までに購入したエアポンプや水槽を持参したことで、捕まえた魚を生きのまま捕獲できました。手持ちの水槽に入れたことで、実際の大きさや色、動き等が観察しやすくなりました。電池式のエアポンプは持ち運びやすく、現地での活動に適していました。次年度に向けて、計画的な購入を検討していきたいと思ひます。

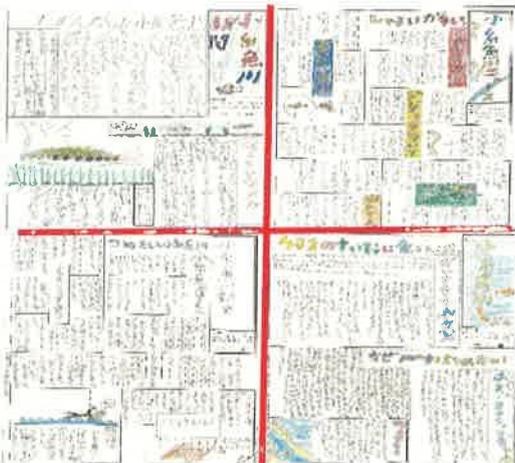
助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7211-009	「小糸魚川」の水辺における子ども達の川について学ぶ体験活動	苫小牧市立澄川小学校 上村 明人



フィールド：教室

日付：11月27日（金）

コメント：各教室で「小糸魚川新聞」の発表会をしました。飼育している魚を観察したり、担任が用意した図鑑などの資料を借りたりしながら描いたイラストは、実物投影機で拡大して提示しました。新聞のサブタイトルには「小糸魚川の水はきれい」「なぜ川の水はつめたいの」「魚を手づかみ」など体験をもとにした工夫が随所に見られました。



フィールド：校内（教室）

日付：11月27日（金）

コメント：新聞には、初めて川へ入った感想や魚を手で捕まえた体験、捕まえた魚の生態などインターネットや図書資料で調べたことや継続した観察で分かったことなどをまとめました。完成した新聞は校内掲示をし、互いに読み合うことで自分が気付かなかった部分や聞き逃したことを確認し、学びを深めることができました。

【派生学習】

フィールド：1年生前廊下

日付：9月～12月

コメント：「澄川小学校出張水族館」がスタートしました。1年生国語科「しらせたいな、みせたいな」の生き物を観察して文章を書く学習で、3年生が飼育しているブラウントラウトを貸し出しました。学習期間中は、1年生教室前に水槽を置き、いつでも観察できるようにしました。先の学年の学習内容を知ること、期待と見通しをもたせることができました。



【継続学習として】フィールド：教室前廊下 日付：12月～

小糸魚川で採取した魚を継続して飼育しています。越冬は難しいようでしたが、担任の専門的な知識により継続して飼育ができ、季節による変化を学んでいます。継続飼育により破損してしまったろ過装置や餌、交換フィルターを助成金にて購入させていただくことができました。

注) 写真は5～6枚程度（枚数が多くなっても、また複数ページになってもかまいません。）

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7211-009	「小糸魚川」の水辺における子ども達の川について学ぶ体験活動	苫小牧市立澄川小学校 上村 明人



フィールド：小糸魚川

日付：9月3日(木)

コメント：ライフジャケットを装着しているため、川で体を浮かべる体験ができました。初めは恐々としていましたが、体が浮く方法を考え、川の流れを上手く使えばよいことに気付き、それぞれ実践していました。川の特徴や生物のことだけでなく安全な活動方法を考え、今後の川との付き合い方に生かす体験ができました。



フィールド：校内（教室前廊下）

日付：9月4日(金)

コメント：捕獲した水棲生物は購入させていただいた水槽にて飼育しました。生き物を水槽に入れると歓声が上がリ、廊下を通るたびに立ち止まっては、観察していました。学習のまとめ新聞を作成する以外に休み時間等に継続して観察することで、魚の生態などにも気づきが生まれるようになってきました。



フィールド：校内（教室前廊下）

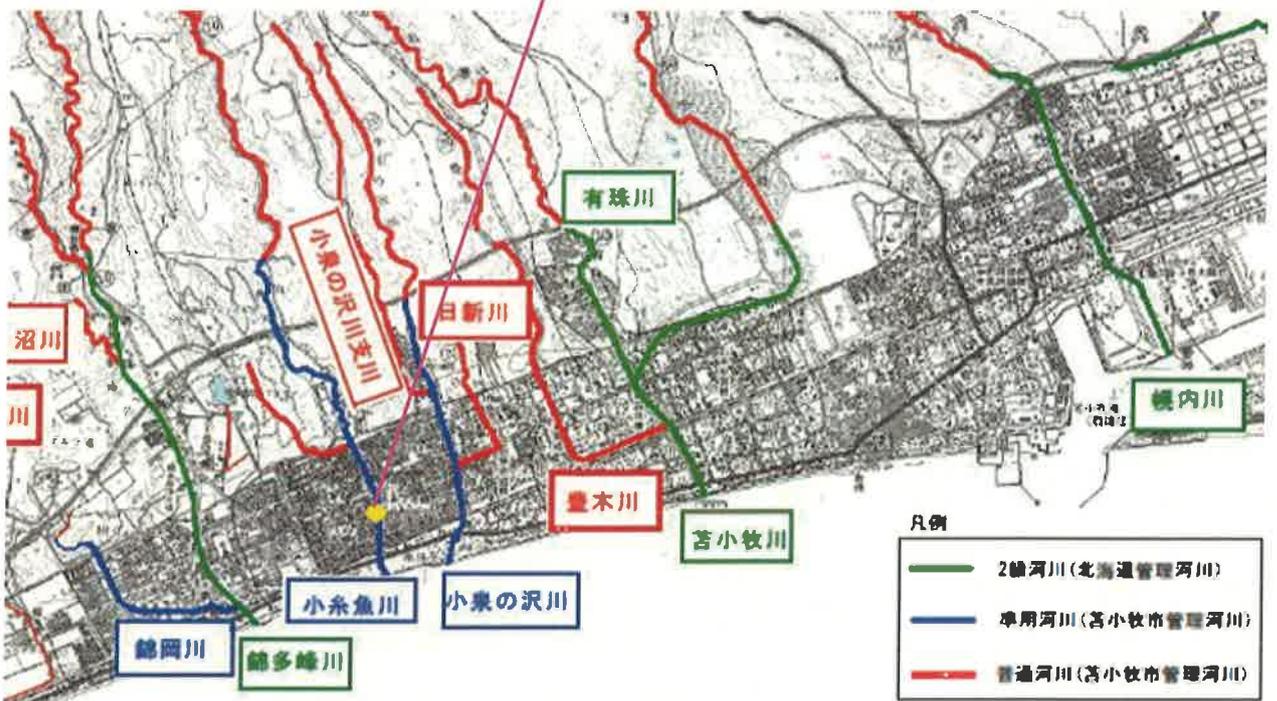
日付：9月～12月

コメント：澄川小学校ミニ水族館はすっかり定着しました。担任は定期的に小糸魚川の水や水道の水を汲み置き、水を取り替えたり水槽を清掃したりするなど、細心の注意をはらって飼育していました。また、水槽周りの掲示板上には、水温や気付いたことを書き込んだ付箋が掲示され、水棲生物にとって最適な環境や長期飼育による変化などがわかるよう工夫していました。

助成番号	助成事業名	学校名・学校長氏名
2020-7211-009	「小糸井川」の水辺における子ども達の川について学ぶ体験活動	苫小牧市立澄川小学校 上村明人

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。
 (縮尺は1/50万～1/100万程度)



助成事業の主な実施箇所

- 凡例
- 2級河川(北海道管理河川)
 - 準用河川(苫小牧市管理河川)
 - 普通河川(苫小牧市管理河川)